

2013年度全国共用試験結果

大学名	CBT 到達者	OSCE 到達者	最終 到達者	再掲 (4年制卒)	10年度 入学者 (6年制)*
北海道大学*(一括)	30	30	30	0	30
北海道医療大学	174	177	174		182
北海道薬科大学	190	196	190		227
青森大学	54	65	54		53
岩手医科大学	143	143	143		163
東北大学*(一括)	25	25	25	5	20
東北薬科大学*	274	277	274	0	314
奥羽大学	82	94	82		103
いわき明星大学	63	65	63		78
国際医療福祉大学	163	163	163		223
高崎健康福祉大学	76	79	76		95
城西大学*	230	236	229	1	277
日本薬科大学	187	218	187		249
千葉大学*(一括)	35	35	35	0	40
東邦大学	209	211	209		238
東京理科大学*	88	89	88	10	86
日本大学	218	222	218		260
千葉科学大学*	85	95	85	0	101
城西国際大学	57	59	57		82
帝京平成大学	181	205	181		225
東京大学*(一括)	11	11	11	3	8
東京薬科大学	398	398	398		428
明治薬科大学*	289	289	288	4	303
昭和大学	186	186	186		192
昭和薬科大学	234	235	234		252
星薬科大学*	268	268	268	3	268
慶應義塾大学*	159	159	159	0	195
北里大学*(一括)	257	257	257	0	258
武蔵野大学	127	127	127		139
帝京大学	293	294	293		344
横浜薬科大学	169	172	169		370
新潟薬科大学	156	157	156		179
富山大学*	54	54	54	0	55
金沢大学*(一括)	40	40	40	5	35
北陸大学	79	85	79		118
静岡県立大学*(一括)	89	89	89	非公開	80
名古屋市立大学*	62	62	62	5	73
名城大学	256	257	256		280
愛知学院大学	130	130	130		162
金城学院大学	128	136	128		143
岐阜薬科大学*	82	82	82	4	86
鈴鹿医療科学大学	89	91	89		101
京都大学*	33	33	33	4	30
京都薬科大学	372	374	372		402
同志社女子大学	129	130	129		149
立命館大学	129	131	129		142
大阪大学*	31	31	31	5	25
大阪薬科大学*(一括)	331	338	331	1	270
近畿大学*	152	152	152	0	150
摂南大学	219	224	219		245
大阪大谷大学	115	117	115		139
神戸薬科大学	250	250	250		276
武庫川女子大学*	184	190	184	4	194
神戸学院大学	217	217	217		254
兵庫医療大学	100	104	100		150
姫路獨協大学	60	67	60		60
岡山大学*	44	45	44		43
広島大学*	41	41	41	1	39
広島国際大学	128	133	127		156
安田女子大学	66	67	66		70
福山大学	88	88	88		88
就実大学	85	91	85		97
徳島大学*(一括)	51	52	51	10	40
徳島文理大学	131	134	131		127
徳島文理大学香川薬学部	54	56	54		65
松山大学	69	72	69		83
九州大学*(一括)	37	38	37	7	31
福岡大学	239	245	239		245
第一薬科大学	164	182	164		195
長崎大学*	43	43	43	3	40
長崎国際大学	83	86	82		86
熊本大学*(一括)	58	60	58	5	56
九州保健福祉大学*	106	107	106	3	140
崇城大学	143	143	143		131
合 計	10,072	10,304	10,068	85	11,333

*：一括入学等により6年制学科入学者数が未確定については入学定数表示

本紙調査

減少傾向続く共用試験合格者

全国の保険薬局・病院で5月12日から、長期実務実習がスタートする。今年度で5年目を迎えるが、その対象となる共用試験合格者が1万0068人であることが、本紙調査で明らかになった。今回は全ての薬系大学・薬学部で共用試験が実施された2011年度から3回目になるが、合格者数は10年度（1万0801人）をピークに、毎年減少している。今回も12年度合格者数に比べ255人減少した。また、合格者のうち4年制学科卒の学生は85人以上であることも分かった。

4年制卒も85人以上合格

本紙では長期実務実習の前提となる共用試験が09年度に実施されて以降、各大学の協力を得て、合格者数を調査し、実務実習対象者数の把握を進めてきた。今回も例年通り、総受験者数を含め、各受験者数・合格者数・最終合格者数についての回答を求めた。全74校・学部のうち9割に当たる67校・学部から全項目への回答を得たが、ここではCBT、OSCE合格者数と最終合格者数に限って紹介する。

最終的な共用試験合格者は1万0068人で前回（1万0323人）に比べ250人余り減少した。74校が出揃

う前年、10年度の時点では1万0801人に達した。だが、これをピークに3年連続で共用試験合格者数が減少していることになる。

前回調査に比べて合格者数が255人減少した内訳を大学(学部)別に見ると状況は多様だ。合格者が減少した大学(学部)のうちで、20%以上減ったのは徳島文理大香川薬学部（△45%）を筆頭に北陸大、兵庫医療大、横浜薬大、新潟薬大であった。実数で30人以上の減少は東北薬科大（△49人）を筆頭に横浜薬大、徳島文理大(香川)、新潟薬大、東京薬科大、兵庫医療大、日本薬大、東邦大、明治薬大、北陸大（△30人）であった。

逆に、20%以上増加したのは、国際医療福祉大（＋58%）を筆頭に崇城大、第一薬大、立命館大、熊本大、摂南大（＋24%）。実数では、20人以上増加した大学に限ると国際医療福祉大（＋60人）を筆頭に第一薬大、崇城大、摂南大、立命館大、同志社女子大（＋21人）であった。

また、4年制学科卒業、修士課程、共用試験を経た後、特例的に受験し合格した学生は、4年制併設の29校のうち非公開1校を除く28校からの回答では、85人であった。なお、前回調査では未回答・未確認の3校を除く27校から回答が得られた結果、72人であった。

ブザンソンFIP事務局長「日本は重要なパートナー」

超高齢社会での薬剤師の活躍に期待

わが国では日本薬学会、日本薬剤学会、日本薬剤師会と日本病院薬剤師会の4団体が国際薬剤師・薬学連合（FIP）に加盟しているが、日本薬学会年会第134年会で講演するために来日したFIP事務局長Luc Besancon（リュック・ブザンソン）氏が取材に応じた。「日本は非常に重要な国の一つ。日本では職能とサイエンスのバランスが良く、特にサイエンスに関しては日本薬学会、日本薬剤学会は重要なパートナーだ」と強調する。

フランス出身の薬剤師であり現在35歳。2004年にフランスでPharmDを取得後、カナダ、フランスで教育を受けつつ、03年にはコミュニケーション学修士も取得と社会科学、医療経済にも明るい。そのためフランス薬剤師会では国際交流、薬剤師の能力・素養に関する専門委員を担当。08年にはオランダに移りFIPで職能・科学の業務を担当し、現在に至



ブザンソン氏（中）の取材に協力いただいた橋田京大教授（右）と熊本武蔵野大教授

っている。FIPでは▽大学関係者を中心にした薬剤師教育の推進▽他の医療職種との連携強化▽薬剤師の給与・待遇改善——の三つが重要課題だという。

わが国については「他の国を啓発・刺激するユニークなものを持っている」と語る。具体例としてスポーツファーマシストや学校薬剤師を挙げる。また、わが国の急速な高齢化に着目。「自由主義国、先進国の日本が、どう対応していくのか。その中で薬剤師がどう活躍していくのか注目している」と、日本の薬剤師に対する期待を語った。



“最も身近な医療人”として活躍している先輩たちに会いに来ませんか？



- ◆ 専門薬局（日・祝定休日）と調剤併設型ドラッグストア（定休日なし）の両方を見学先輩から直接話を聞いてください。
- ◆ 日程は皆さんの予定に合わせます。
- ◆ 交通費は全額支給します。（大学最寄駅～浜松の往復）
- * ひとりでも気軽にメールでお申し込み下さい。

《異質を作る》（他社の真似をしない）
《失敗を恐れない》（果敢に挑戦する）
《よく遊び、よく遊び、よく学ぶ》



Uターン就職はもちろん、Iターン就職も大歓迎!住宅手当も充実しています。

調剤専門薬局 調剤併設型ドラッグストア ドラッグストア

調剤はもちろん、あなたの個性に合った、あなたが生き生き活躍できるフィールドが選べます。



株式会社 杏林堂薬局

〒430-7713 静岡県浜松市中区板屋町111-2 浜松アクタワー13階
TEL：053-453-5555 E-mail：suzuki-ta@kyorindo.co.jp 担当鈴木まで